

トルコ、ギリシア、バルカン諸国
アメリカ国務省記録文書集 1930-1944 年
Turkey, Greece, and the Balkan States:
Records of the U.S. Department of State, 1930-1944

本コレクションに収録されている資料は 1930 年から 1944 年までのものですが、この時代のトルコ、ギリシア、バルカン地方の置かれた問題は、19 世紀の東方問題、オスマントルコ帝国の衰退、東地中海地方でのヨーロッパ諸国の拮抗という歴史的事情に起源を持ちます。トルコは 19 世紀末にギリシアとの間で戦火を交え、20 世紀になると、第一次バルカン戦争、第二次バルカン戦争を経て勃発した第一次世界大戦では同盟国側に参戦し、敗戦を経て、帝国は崩壊しました。第一次大戦後の講和会議であるローザンヌ会議では、ギリシアとトルコのあいだで住民交換条約が成立、両国にとっての歴史的転換点となりました。この条約の調印により、難民問題が新たに発生しました。ローザンヌ条約調印の 1 年後には難民の数が約 70 万人にも達しました。それとともに、バルカン戦争以後に住居を追われた約 100 万人の難民の存在が認定されました。ローザンヌ会議が開催された 1923 年から 10 年後の 1933 年までの 10 年間はギリシアとトルコにとって国家再建の時代であり、国家再建の中軸には多数の難民の存在がありました。

本コレクションは、アメリカ国務省の外交文書を通して、1930 年から 1944 年までの時代のトルコ、ギリシア、バルカン諸国の政治、経済、社会情勢に接近します。

- ◆ 原資料所蔵機関: 米国国立公文書館
- ◆ 発行期間: 1930 年-1944 年
- ◆ 分量: 11,685 イメージ